

(6) 2019年(平成31年) 1月17日(木曜日)

新年明けましておめでとう
ございます。

皆さんはどのように新年を
お迎えになりましたか。私は
アメリカに住むようになって
7年ですが、アメリカでの新
年はどうもあつさりすぎて
いるような気がしています。

日本だったら元旦だけでな
く3日まではお休みです。し
かし、アメリカではニューイ
ヤーズイブのカウントダウン
で盛り上がって、1月1日が
お休みだけで、もう2日か
らはいつも通りの仕事の毎日
です。もっとお正月にのんび
りしたい、もっとお正月気分
を味わいたいと思っています。

このようなアメリカ社会の
中に住んでいると新年のすが
すがしい気持ちも薄らいでき
た気がします。アメリカに住

んでいるという理由だけでな
く、年齢を重ねる中で新年の
抱負も考えず、ただ一日を重
ねるように新年を迎えるよう
になったということもあるか
もしれません。しかし、新し
い記事が出ていたのです。

南加キリスト教会教会連合

新年の抱負

大里 英二

い抱負を抱いて新年をスター
トすることが大切だと、ある
新聞記事を通して再認識させ
られました。

昨年末の新聞にイチロー選
手が野球少年たちに向かつて
「自分でできると思ったこと

は、必ずできるとは限らない
けど、できないと思つたこと
はできない。自分の中で可能
性を決めないで」と語つたと
いう記事が出ていたのです。
日米で偉大な記録を打ち立て
と思つたことは、必ずでき
るとは限らない」と現実の厳し
さを認めたあとで「けど、で
きないと思つたことはできな
い。自分の中で可能性を決め
ないで」と語るときに「よし、
私もやってみよう!」という
気持ちが起こりました。

人生の中で何度も新年の抱
負を立てたのに、うまくいか
なかつたというのを繰り返
すうちに「もう、抱負なんて
立てなくていい」となつて
いたのかもしれない。しか
し、抱負を立てないと何も変
わりません。抱負を立てない
とこの2019年が「新しい
一年」ではなく、今までと同
じことの繰り返し的一年で終
わつてしまいます。

あなたの決断によってこの
一年が変わる可能性がありま
す。一年のはじめに、何のた
めに生きているのか、この年
をどのように生きたいのかを
考えて、抱負を立ててみたら
いかがでしょうか。
聖書に「いと高き神を呼び
ます。わたしのために何事も
成し遂げてくださる神を。
(詩篇57:3)」とあるよう
に、わたしたちにはできない
ことも、神は成し遂げてくだ
さいます。ですから、「新し
いことにチャレンジする」
「無理だと思つていたことに
もう一回取り組む」というよ
うなちよつと大きめの抱負を
持つて、神に祈りつつ一年を
過ごしてみませんか。必ず良
い結果をもたらす一年となる
と信じます。

(ガーテナバレーバプテス
ト教会牧師)